

## 山行報告書

行管理部

有志山行 常念岳・蝶ヶ岳 7月15～18日 L岩佐、参加者5名

7/15(金) ほりで～ゆ～四季の郷(泊)

7/16(土) 7:40 一ノ沢登山口 8:00・・・9:20 王滝ベンチ・・・11:25 胸突八丁 11:45  
・・・12:25 最終水場・・・13:50 常念小屋(泊)

7/17(日) 03:50 常念小屋・・・6:00 常念岳 6:20・・・8:00 常念小屋(泊)

7/18(月) 05:35 常念小屋・・・6:30 最終水場・・・7:40 笠原沢・・・9:40 一ノ沢登山口  
～10:20 ほりで～ゆ～四季の郷(入浴)～ 17:03 新大阪(解散)

近鉄鶴橋駅 8:31 ⇒ 石切駅 9:00 → 石切場跡 10:00 → コブシの谷 10:40 →  
山行1日目はガスっていて眺望はなかったが、常念乗越に到着し少しするとガスが晴れて常念岳や槍がきれいに見えた。2日目は天気予報でお昼頃から雨と雷の予報が出ていたので、早朝暗いうちに小屋を出発したが、常念岳頂上あたりで天気予報を確認すると、天気の崩れが早く9時頃から雨に予報が変わっていた。風も強くなってきていたので、蝶ヶ岳は断念して常念小屋に戻った。この後、悪天候時は小屋でゆっくり過ごした。今回は天気の悪化のため常念岳ピストンの山行となったが、夕日や朝焼けは見ることができ、最終日は晴天の中を下山することができた。天候はよくなかったが全員が無事下山でき楽しい思い出ができた。(岩佐 記)

有志山行 北海道4座 7月15日～20日 CL 乾、SL 吉田 合計7名

7/15(金) 関空 8:30→(ピーチ) 10:25 新千歳→(レンタカー)→17:00 暑寒荘(泊)

7/16(土) 暑寒荘(280M) 5:00⇒6:00 佐上台⇒8:20 扇風台⇒9:30 暑寒別岳  
(1296M) 10:00⇒10:50 扇風台⇒12:30 佐上台⇒13:20 暑寒荘→吹上温泉  
白銀荘(泊)

7/17(日) 白銀荘 4:30→4:40 十勝岳望岳台登山口(930M) 4:50⇒5:45 雲ノ平分岐  
⇒8:25 十勝岳(2077M) 8:50⇒10:45 雲ノ平分岐⇒11:20 望岳台→糠平温  
泉中村屋(泊)

7/18(月) 糠平温泉 4:30→4:50 ウペペサンケ山糠平登山口(900M) 5:00⇒9:15 糠平  
富士(1848M) 9:50⇒12:20 登山口→糠平温泉中村屋(泊)

7/19(火) 休養日、移動日

糠平温泉 10:00→15:30 夕張岳登山口 16:40⇒17:00 夕張ヒュッテ(泊)

7/20(水) 夕張ヒュッテ(640M) 4:40⇒(冷水コース)⇒6:00 馬の背分岐⇒6:40 望岳台  
⇒8:40 夕張岳(1668m) 9:00⇒10:25 望岳台⇒馬の背分岐⇒(馬の背コース)⇒  
11:50 夕張ヒュッテ⇒登山口→新千歳空港 18:40→(ピーチ) 20:50 関西空港

今回の山行は上記のとおり有志7名（女性4名、男性3名）で実施。今回はそれぞれ特徴のある4座を選定。**暑寒別岳**（花の百名山）は増毛山地の主峰で7月いっぱい残雪がありマシケゲンゲ等固有種も見られ花の名山として人気がある山。登山者が少なく静かな山行が楽しめた。**十勝岳**（日本百名山、花の百名山）は大雪山国立公園内にある活火山で人気のある山。百名山だけあってかなりの登山者。**ウペペサンケ山**は糠平富士とも言われ最初の予定ニペソツ山（200名山、また百名山の候補に上った名山）であったが天候および歩行時間の関係で地元の人に人気のあるとのことで急遽変更して登山。地元の小学生も登山しているとのことであったが急坂が続きて、中々登りごたえのあるハードな山で登山者も途中3人にあっただけで静かな山行を楽しめた。ニペソツ山には機会があれば再度チャレンジしたいと思います。**夕張岳**（200名山、花の百名山）は花の名山として知られ高山植物が豊富で固有種も多く人気のある山であり3年前に登山した時、帰りの飛行機の関係で途中引き返した山なので今回の山行計画に選びました。山の感想については先月の会報でSさんが感想を書いているので今回は山行記録と費用について記載したいと思います。関空と新千歳往復の飛行機代金、現地でのレンタカー代、ガソリン代、高速費、宿泊代、暑寒荘（自炊、無償）、白銀荘（素泊まりのみ2600円）、糠平温泉（1泊2食 2泊で約19,000円）夕張ヒュッテ（利用料1500円、自炊）一人当たり合計で60,000円ぐらいで押さえることができました。（途中のアルコール代、食材購入費は別）自炊時の食材は途中CVS、スーパーで調達。暑寒荘、夕張ヒュッテは寝具持参とのことであったが揃っています。白銀荘は素泊まりのみの温泉旅館ですが売店があり寝具はもちろん厨房施設、食器等すべて揃っています。今回の山行は最初の予定より思った以上に安価で山行を愉しめました。

（乾 記）

**ターゲット** 荒地山・七兵衛山 7月17日 L 宮田・近澤・松本(光) 参加13名

阪急芦屋川 8:30 → 広場 9:00 → 高座の滝 9:30 → キャッスルウォール 10:20 → 荒地山 11:20 → 水場 12:10 → 七兵衛山 13:00 → 水平道分岐 14:00 → 西南稜 14:20 → 高座の滝 15:00 解散

梅田出発時は雨が強く、今日の山行は厳しいかなと思ったが、芦屋川では雨も止み、全員ザックカバーのみ着用、広場で点呼、及び体操をして出発。キャッスルウォールを横に見ながら荒地山山頂で昼食。七兵衛山山頂でゆっくりして、風吹岩行きを割愛して西南稜へと向かうが、雨の影響で道はドロドロ。西南稜は特に足元を気にしながら、注意深く下る。事故もなく終了し、下の小屋で反省会をする。

(宮田 記)

## 例会山行 比叡山 7月24日(日)

L 楠本、S 古沢、五十嵐、上坂 参加 40名(一般参加なし)

JR 大阪駅 7:45～比叡山坂本駅 9:00～日吉大社(体操) 9:30—本坂—  
—11:15 延暦寺—12:05 大比叡(昼食～各部の山行予定案内) 13:20—  
—紀貫之墓碑—15:50 日吉大社

暑い中での山行でした。昼食後の T さんのワンポイントレッスンで、熱中症について話していただき、水分、塩分補給や、首筋や脇の下を冷やすなど、工夫次第で、気温が高く無風な時でも、熱中症にならないように身にしみて再認識しました。反省会は、坂本駅前のお店で慌ただしく 30 分程度でしたが、皆さん、一刻も早く飲めてよかったんじゃないかな？ (上坂 記)

## 有志山行 燧ヶ岳 至仏山 7月27日～8月1日 L 猪瀬 参加 3名

7月27日 ナンバ 22:40 発 新宿バスタ 6:00 着

7月28日 新宿 7:15 発 大清水 10:45 着 シャトルバス 11:00 発 一の瀬 11:15 着  
一の瀬 11:45～三平峠 12:45～長蔵小屋 13:50(泊)

7月29日 小屋 5:00～ナゲツボ 分岐 5:50～8合目 8:20～俎板ぐら 9:00～柴安ぐら 9:25  
休憩 10:10～8合目 11:00～長蔵小屋 13:30(泊)

7月30日 小屋 6:45～沼尻 8:30～10:20 見晴 11:10～竜宮 11:40～尾瀬ロッジ 12:55(泊)

7月31日 小屋 5:00～8:30 至仏山頂上 9:00～小至仏 9:45～鳩待峠 11:40 バス 11:50 発  
戸倉 12:20 着 入浴、食事 戸倉 15:30 発 20:15 着 新宿発 22:20 ナンバ 5:50 着

1日目の沼尻から燧ヶ岳へ直登するコースは大小の岩が続き、緊張の連続、長英新道との合流点でひと休みして俎板ぐら、柴安ぐら山頂へ。下山はぬかるみだらけで小屋に着いたときには靴もスパッツも泥だらけ。(到着 30 分後雨)

2日目は尾瀬沼南岸を見晴、山の鼻へと花を見ながらのんびり木道歩きを楽しんだ。(小屋到着後すぐ雷雨)

3日目は“早朝、熊出没に注意！”の情報にびくびくしながらも、朝日に照らされる至仏山を見て気持ちを引き締めてスタート。前日の雨で木道は滑りやすく登山道も水が流れ込み蛇紋岩を滑らないよう注意を払いながらの登り。途中振り返ると燧ヶ岳がくっきりと見えて朝もやに包まれた尾瀬ヶ原が幻想的だった。森林限界を超えたあたりから見える美しい風景と可愛い高山植物は登りのしんどさを忘れさせてくれた。山頂からは富士山も見られ 360 度の雄大な展望を楽しめた。天気予報では曇りや雨が多く山行中も毎日午後から夜にかけて雨が降ったが私たちが歩いている間は一度も雨に会わず三日間天気に恵まれ感謝！ 山は早立ち、早着きが基本ですね！

(猪瀬 記)

有志山行 常念岳・蝶が岳 7月29日～8月2日 L岸本 参加3名

7/29 阪急梅田高速バスターミナル22:00発 = 松本バスターミナル06:20着

7/30 松本バスターミナル06:30発 = ヒエ平07:30着 ヒエ平出発08:05～山の神08:25～王滝ベンチ10:00～最後の水場13:00～常念乗越14:30 常念小屋15:00着(泊)

7/31 常念小屋7:00～常念岳09:00～2512mピーク11:00～蝶槍14:00～横尾分岐14:30～蝶が岳ヒュッテ15:30(泊)

8/1 蝶が岳ヒュッテ07:00～蝶が岳07:30～妖精の池07:50～長堀山頂上09:10～徳澤12:00～上高地散策13:30～徳澤園15:30(泊)

8/2 徳澤園08:00～上高地バスターミナル11:30→新島々12:35着 12:52→松本13:21 松本バスターミナル15:00→大阪20:45

7/30日 タクシーでひえ平登山口につき小屋に入ると登山者用にテーブルにキュウリやトマトお茶が用意されていた。そこで朝食をとり身支度を整える。出発時小雨が降っていたが、いつのまにか止みむし暑いなか登山開始。大滝ベンチを過ぎたところで救助を待つ人に出会い、雨で滑り易くなっている樹林帯を慎重にゆっくり歩く。胸突き八丁、最後の水場からの登りと夜行バスに弱く体力のない私は遅れながら歩く。第3ベンチをすぎたところで急に視界が開け目の前に常念岳がどんと現れたときはうれしかった。小屋は超満員で200名の定員に300名が宿泊したとオーナーが笑いながら言っていたように、前に3名で宿泊した部屋に11名詰められ、一枚の布団に寝袋2つおき寝返りもままならない込み具合だった。

7/31日 体調があまりよくなくゆっくり歩かせてもらった。時間はかかったが常念岳の頂上は素晴らしく槍や穂高連峰を堪能した。400m登って400m一気に急な岩場を下る。途中お花畑ではニコウキスゲ、ゴゼンタチバナ、クルマユリ、キヌガサソウ、ツメキソウなどの花を見ながら蝶槍へ向かう。この登り返しはきつかった。瞑想の丘の手前で雷鳥がいたので写真を撮ろうとしていたら茂みからひなが5羽も現れご褒美をもらえた気がした。蝶が岳ヒュッテからの常念・槍ヶ岳・穂高・乗鞍・御嶽山の大パノラマ、大キレットに沈んでいく夕日、いつまでも見ていた。

8/1日 朝出発前に前日足を痛めて7時頃に到着した南アルプス市の伊藤さんから一緒に下山してほしいと声がかかり、道案内をしてもらいながらゆっくり下山。徳澤園で一緒にお昼をとり明神の手前まで見送る。今回天候に恵まれ、体調が悪くしんどかったけれど一歩一歩といいながらゆっくり歩けたこと、またあこがれの徳澤園に泊まれうれしかった。

(五十嵐記)

**有志山行 黒部五郎岳・鷲羽岳 8月1～5日 L宮田 参加2名**

8月1日(月)ハスターミナル大阪梅 21:30 集合 ハス出発 22:00 → (ウイラ-高速バス) →  
2日(火) → 富山駅着 4:20 富山駅発 5:30 → (富山地鉄バス) → 折立着 7:30  
折立発 8:20…五光岩ベンチ 12:35…太郎平小屋 13:30 (泊)  
3日(水) 太郎平小屋 3:20…北ノ俣岳 6:13…赤木岳 7:30…中俣乗越 9:06…黒部  
五郎岳 11:10…黒部五郎小屋 13:50…三俣山荘 17:30 (泊)  
4日(木) 三俣山荘 4:07…鷲羽岳 5:30…三俣山荘 7:15…三俣蓮華岳 8:45…  
双六岳分岐 11:00…双六小屋 11:15…弓折岳 13:20…鏡平山荘 14:20 (泊)  
5日(金) 鏡平小屋 5:30…シシウドガ原 6:10…小池新道口 7:10…わさび平小屋  
8:40…中崎橋 9:20…新穂高温泉 10:10 入浴(中崎山荘) 新穂高温泉発  
12:20 → (中央交通バス) → 大阪 梅田着 19:50

山行全日午前中晴れ、午後曇りから小雨という天気だった。従って、計画の歩行時間を確保するため早朝出発に心掛けた。3日目、3時20分に出発し、黒部五郎岳の壮大な山容に圧倒された。黒部五郎小屋から三俣山荘へは初めてのルートで、雨は降るし辺りは暗く、焦ってきた。結局、山荘に到着したのは17時30分になった。4日目朝一で鷲羽岳往復をした。頂上近くは岩場続きで鷲羽岳の雄大さ厳しさを感じた。出発前に行った岩場でのトレーニングが生かされた思いをした。最終5日目、19年前に参加した今回と同様なルートの有志山行を思い出しながら下山し感慨深いものがあった。(岩見 記)

**有志山行報告書 朝日連峰縦走 8月5～9日 CL 乾、SL 願野 合計6名**

8/5(金) 各人新潟集合 駅前ビジネスホテル (泊)  
8/6(土) 新潟 8:27 → (JR) → 10:18 鶴岡 → (ジャンボタクシー) → 11:30 泡滝ダム (510m) 12:00 → 13:50 七つ滝沢橋 → 15:10 大鳥小屋 (泊) (自炊、寝具持参)  
8/7(日) 大滝小屋 5:05 → (直登コース) → 8:20 以東岳 (1772m) → 10:40 狐穴小屋 (大休憩) 12:00 → 13:12 寒江山 → 14:30 竜門小屋 (泊) (自炊、寝具持参)  
8/8(月) 竜門小屋 5:05 → 6:24 西朝日岳 → 7:50 大朝日小屋 → 8:10 大朝日岳 (1870m) 8:20 → 8:31 大朝日小屋 → 10:15 小朝日岳 → 11:30 鳥原山 → 11:55 鳥原小屋 (大休憩) 12:40 → 13:30 金山沢水場 → 15:10 朝日鉱泉 (550m) (泊)  
8/9(火) 朝日鉱泉 7:30 → (バス) → 8:40 左沢駅 8:56 → 9:40 山形駅 (解散)

今回の山行は昨年有志で飯豊連峰を縦走したときに稜線からの朝日連峰を見た時、来年は是非と思って今年に計画、実施しました。今回は山中の2泊とも避難小屋の為、すべて自炊で3日間の食糧、コンロ、ガス、およびシュラフ、マット等持

参してかなりの荷物になる。しかし今回は宿泊小屋および途中で水場があり安心していただけが暑さのせいで思った以上に水の消費が増え多くの水の持参が必要で荷物が増えた。最初は平たんな道を進むが途中沢を過ぎたあたりからジグザグの急登になり約3時間強で大鳥池ふもとの大鳥小屋に到着。2日目は大鳥小屋から右の急登コースを取り約3時間20分で以東岳に到着。以東岳からは昨日宿泊した大鳥小屋また遙か彼方に明日登る大朝日岳が展望できる。ここから見た朝日岳は一際高く立っているピラミッド型の素晴らしい山。暫しの展望を愉しんだのち稜線歩きが始まる。しかし暑さと稜線のアップダウンの繰り返しのせいで体力を消耗して中々足が進まない。途中水場の有る狐穴小屋で昼食兼大休止をとり竜門小屋に到着。3日目はいよいよ大朝日岳登頂である。遙か彼方に見えていた山が目前に迫ってくる。頂上からの展望は素晴らしく飯豊連峰、月山、そして遠くに鳥海山、蔵王、吾妻連邦等の山々。そこから小朝日岳を登り返し急峻な下りをして朝日鉱泉に到着。今回の教訓は水の重要性を非常に認識した山行であった。

(乾 記)

**教育部山行 白滝谷沢登り 8月7日 L高桑 参加者6名**

07:00 JR 茨木駅西口前集合 (名神 IC に近い) 09:20 坊村 — 10:20 白滝谷入溪 — 14:00 夫婦滝 — 16:00 坊村 — 16:30 堅田解散

盛夏の今年の白滝谷です。盆休み前なのか入溪者は少なく穏やかな沢でした。初めてや数年ぶりの方も軽やかにこなし、猛暑の沢を想像以上に楽しみ、堪能しました。今年は嫌われ者のヒルも全く見掛けることもなく、数年ぶりに夫婦滝の釜で泳ぎました。

(高桑 記)

**土曜山行 廃村八丁 8月13日 L古澤、堺 参加者15名**

広河原 10:05 → 佐々里峠 11:00 → ダンノ峠分岐 11:50 → 品谷山 12:20 12:50 → 廃村八丁 1:55 → ダンノ峠 3:40 → 菅原 4:30

出町柳からバスに揺られること1時間50分やっと広河原に到着！川沿いの道を登って行く。川の道はいくつも分かれているし下見の時より草が伸びていてとてもわかりづらい。佐々里峠の手前は特にひどくみな道なき草の中をよじ登る尾根道は木立で陽射しも遮られ時々吹く風が心地いい。品谷峠で左に曲がり廃村八丁へ。また沢道を行き左に刑部滝をすぎ直登する。後は道なりに菅原まで乾さん堺さんの適切な指示もあり迷子にならず無事下山できました。皆さまありがとうございました。

(古澤 記)

ターブル 赤目四十八滝 8月21日 L岩佐、福永 参加23名  
近鉄鶴橋駅 7:34—8:36 赤目口駅 9:00—9:10 赤目滝バス停…9:30 サンショウウオ  
センター…9:40 不動滝…9:50 千手滝…9:55 布曳滝…10:15 百畳岩 10:25…  
10:45 琵琶滝…11:00 岩窟滝（昼食） 11:30…11:55 出合茶屋 12:15…12:40 小笹  
峠（休憩） 13:10…14:00 落合バス停（解散） 落合バス停 14:29 発—14:58 名張駅

年と同じ時期、同じコースでしたが、23名の参加がありました。連日猛暑の大  
阪とは違い、滝道はとても涼しく、心配していた観光客も少なく快適なハイキン  
グとなりました。バスの便が少なく予定のバスを逃すとバス停で約3時間待ちとな  
るため前半を少し速いペースで歩いてしまい、風の抜ける小笹峠で30分ほど大休  
憩をとり時間調整をしました。名張駅近辺の居酒屋で反省会をしましたが、18名  
も参加していただき、楽しい反省会となりました。

（岩佐 記）